



つなかり



南予地区愛護班活動研究集会「青少年健全育成の集い」 ～地域の教育で未来を変える～

6月28日(土)に松野町コミュニティセンターで、南予地区愛護班活動研究集会「青少年健全育成の集い」が開催されました。

情報提供

県社会教育課から愛護班の経緯、青少年教育の現状と課題について情報提供がありました。現在、子どもたちの置かれている社会状況は、急速なデジタル化や共働き世帯の増加などにより、複雑化しています。特に、自己肯定感の低さ、自然体験活動の減少、情報メディアを通じたトラブルが主な課題として挙げられました。愛媛県教育委員会の様々な事業を通じて、地域ぐるみで子どもたちを支える体制を構築しているという説明があり、参加者にとって有意義な情報提供となりました。

講演

【演題】「子どもたちが夢中になる科学あそび」

【講師】愛媛県総合科学博物館

専門学芸員 藤本 光章 氏

科学マジックショーを通して、子どもたちが楽しみながら科学に親しむための工夫や実践方法を紹介いただきました。身近な材料を使った実験や遊びを取り入れた講演は、科学への興味を育む内容で、今後の家庭や地域での活動に役立つ学びの多い時間となりました。

また、簡単工作として、紙とんぼと音の出るおもちゃ作りを体験しました。実際に体験することにより、科学の不思議を身近に感じ、参加者からも好評の時間となりました。教育や子育ての現場においても応用可能なヒントが多く含まれており、有意義な講演会となりました。

<参加者の声>

子どもの気持ちに戻って楽しかったです。科学の楽しさ、話術など、どれも参考になりました。

「なぜ？」や「面白い！」が子どもの学びの原点だと改めて感じました。

子どもたちの心をつかむ実験や工作、ぜひ参考にさせていただきます。



事例提供

【事例提供者】 株式会社サン・クレア

前川 真生子 氏

地域資源を生かした子どもたちの居場所づくりや、多様な関わり方を可能にする実践例を紹介していただきました。学校以外の場で、自然や命に触れながら子どもたちが安心して過ごせる環境が整えられており、地域全体で子どもたちを受け入れる仕組みづくりが進められていました。地域の特性を強みに変えた取組は、今後の居場所づくりや支援体制の参考となる内容でした。



<参加者の声>

子どもの居場所はいくつあってもよいと思いました。
居場所の中に必ず自然を感じる場、命を感じる場が必要であると思いました。
子どもたちがしたいことに大人が協力することは、実際にするととても難しいことだと思います。そういう活動をされていることがすばらしいです。
地域性を地域資源に変えている良い例だと感じました。

情報交換

「体験活動の充実」をテーマに、9グループに分かれて情報交換を行いました。様々な地域や職種の方が交流することができ、多様な立場からの意見が交わされ、非常に充実した協議となりました。少子化や各機関の連携体制など、挙げられた課題について熱心に協議するグループも多く見られました。青少年の健全育成に関わる様々な立場の関係者が活発に意見を交わし、子どもたちの体験活動の充実について思いを共有することができました。



<参加者の声>

様々な立場の方と意見交換をすることができ、今後の活動の参考になりました。
青少年に関する地域や学校の課題を共有しながら意見交換をすることができたので、大変有意義な時間になりました。
自分の町に参考になるお話を聞かせていただきました。